

BCPシミュレーション

BCP研究会

BCPシミュレーションの目的

1. **仮想の施設を想定し、災害発生後の対応をみんなで考える。**
2. **その時出てきた課題をBCPに反映させ、実践的なBCP作成を支援**

災害想定

災害発生時刻 11月22日（火）午後2：15に大地震が発生

災害規模 震度7

ライフライン

電気	停止
水道	停止
ガス	停止

インフラ

固定電話	停止
携帯電話	発災後30分で不通
鉄道	停止
バス	停止

施設想定

障害者生活介護事業所 ゆめかぜ

利用者数	25名
職員数	正規職員 10名
	アルバイト 6名
車両数	4台

災害時は利用者5名欠席

職員は2名、アルバイト2名は非番で勤務していない。

所有する車4台に損傷なし

職員の状況

職員状況								
	雇用形態	年齢	性別	家族構成	勤続年数	通勤手段	通勤時間	備考
①	正職員	56	男	妻、長男(21才)長女(19才)	21	公共交通	80分	施設長
②	正職員	33	男	単身	4	自転車	10分	
③	正職員	54	男	単身	15	公共交通	40分	非番
④	正職員	28	男	父	9	徒歩	5分	
⑤	正職員	28	女	単身	3	自転車	10分	非番
⑥	正職員	24	女	父、母	2	公共交通	50分	
⑦	正職員	39	女	夫、長男(11才)長女(5才)	6	自転車	20分	
⑧	正職員	37	女	夫、長男(17才)長女(12才)	6	公共交通	30分	
⑨	正職員	46	男	妻、長男(20才)長女(16才)	23	公共交通	60分	
⑩	正職員	52	女	夫、長男(20才)	20	公共交通	40分	
⑪	パート	47	女	父(85才)、母(80才)	15	公共交通	50分	
⑫	パート	60	女	夫	7	自転車	15分	
⑬	パート	23	男	母、祖母	2	公共交通	70分	
⑭	パート	33	男		5	公共交通	30分	非番
⑮	パート	46	女	父、母、妹	20	車	15分	
⑯	パート	33	男	妻	2	自転車	20分	非番

利用者状況

利用者状況

	年齢	性別	家族構成	障害名	補足事項
A	21	男	両親	身体障害1級	車いす使用、少し立てる。支えがあれば可能です。
B	21	男	GH	身体障害1級	電動車いす
C	56	女	母(80代)、妹	療育A	言語理解力はある。気分が高まっているときは多動気味
D	33	女	独居	身体障害1級	電動車いす。ASD。こだわり強く、聴覚過敏
E	84	男	独居	身体障害1級	電動車いす。前方への屈曲強く、排尿や着替えが2人介助
F	30	女	母	身体障害1級	電動車いす。てんかん発作にて失神。発作対応の座薬持参
G	25	男	独居	身体障害1級	電動車いす。17年前の母死去より寂しさから周囲に依存
H	58	女	独居	身体障害1級	電動車いす
I	44	女	父、母、姉	療育A	重度知的障害。発話しないが、こちらの言語は理解してる
J	68	男	独居	療育B2	軽度知的障害。生真面目で細かい作業は得意。
K	58	男	GH	身体障害1級	簡易電動車いす。
L	65	男	両親。高齢	身体障害1級	電動車いす。筋ジストロフィー症
M	64	男	母(90代)	身体障害1級	電動車いす
N	33	女	GH	身体障害1級	ストレッチャー型車いす。重度の難病で発話や歩行はない。
O	26	男	両親	身体障害1級	車いす使用、少し立てる。支えがあれば可能です。
P	21	男	両親、妹	身体障害1級	電動車いす
Q	28	両親	母	身体障害1級	電動車いす。言語障害あり。
R	30	男	独居	身体障害2級	電動車いす。
S	47	女	独居	身体障害1級	電動車いす
T	46	女	両親、妹	療育A	重度知的障害。言語障がい伴う。こちらの言語は理解してる
U	48	男	両親	療育B2	軽度知的障害。人懐っこい
W	47	男	GH	身体障害1級	電動車いす。言語障害あり。
X	37	男	独居	身体障害1級	電動車いす。筋ジストロフィー症
Y	58	男	母(80代)	身体障害1級	電動車いす
Z	32	女	独居	身体障害2級	電動車いすだが、少しなら歩行も可。

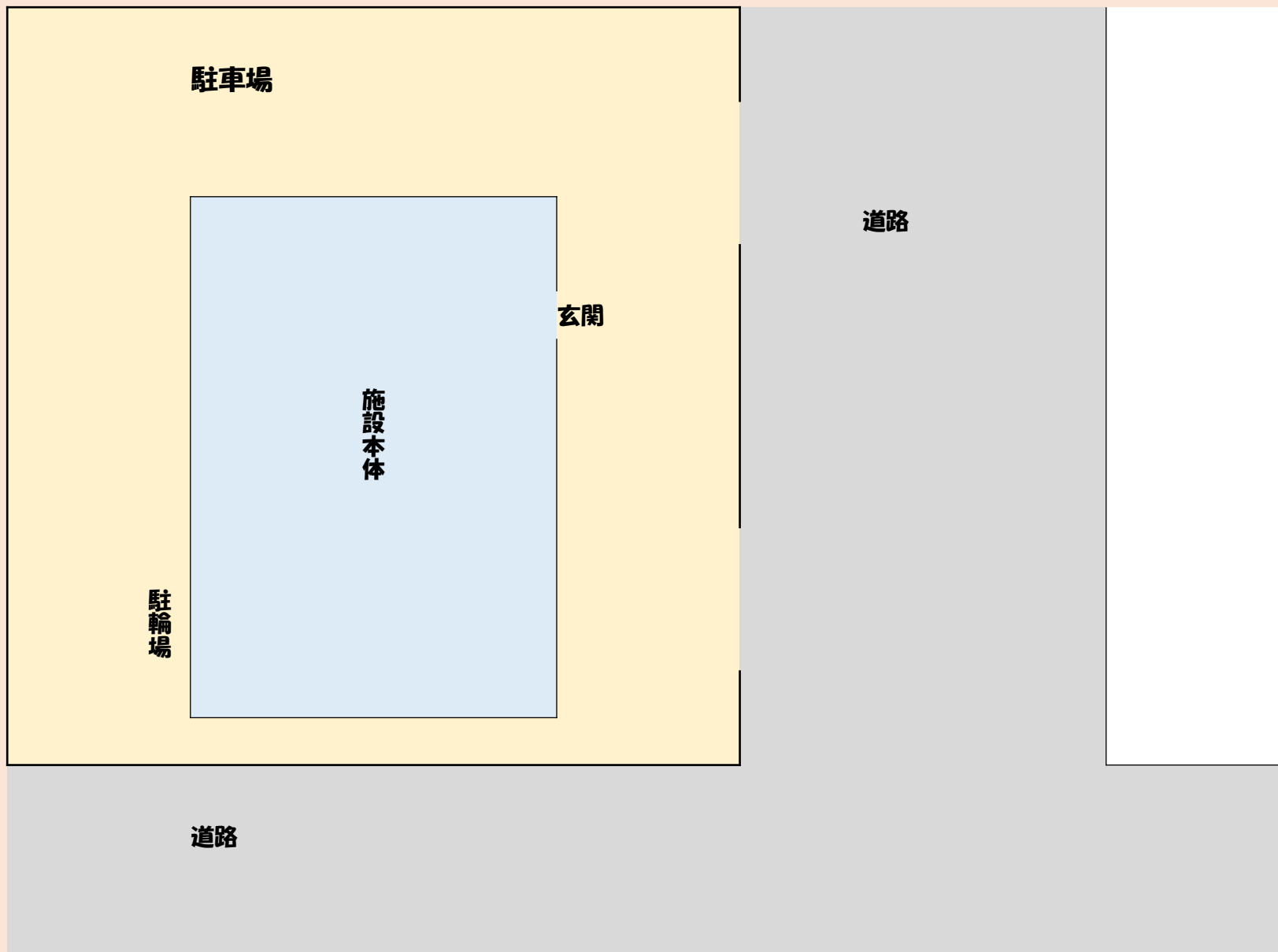
当日欠席者

夕方泊まりたいと申し出てきた人

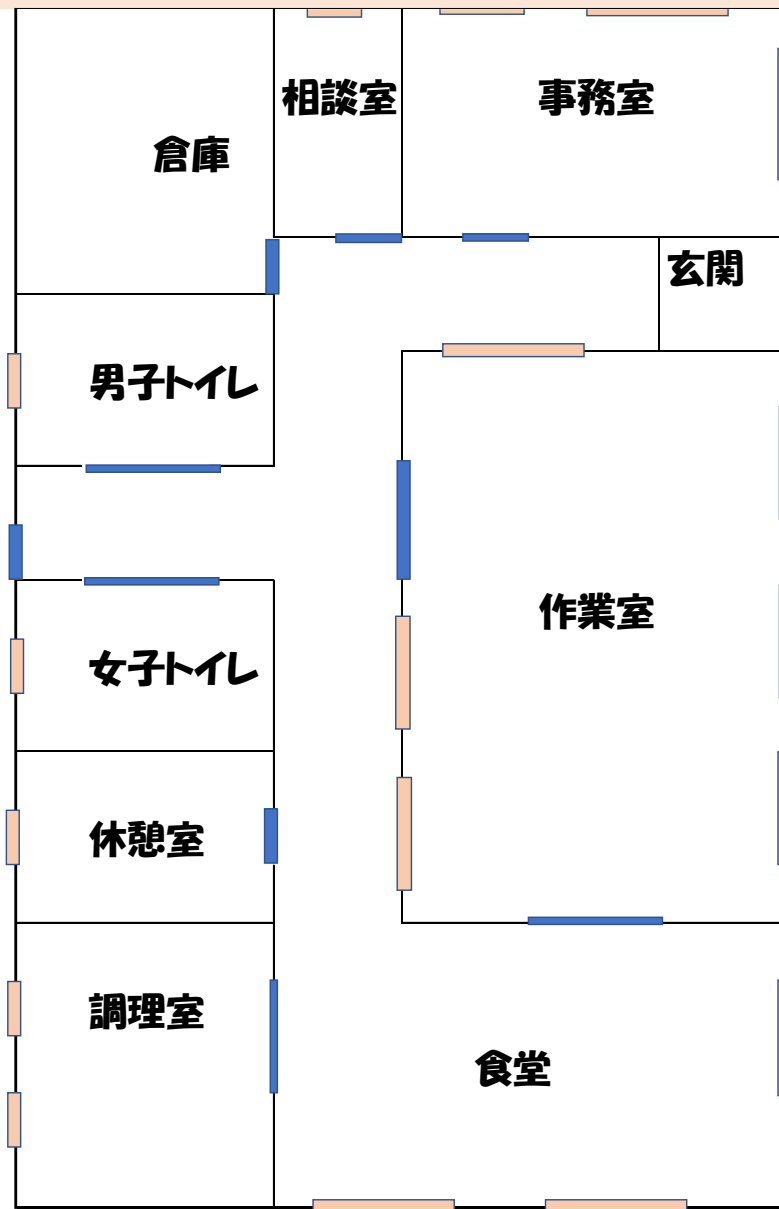
防災組織について

防災組織の担当と任務（初動対応時）	
担当（氏名、職位・職種）	任務
災害対策本部長（①）	状況判断・最終意思決定・指示
災害対策副本部長（⑨）	本部長補佐・本部長不在時の代行
総務担当（③）	建物点検・情報収集・初動対応の確認 必要物資の確認
安否確認担当（⑩）	利用者の安否確認 職員の安否確認と参集状況の確認
福祉避難所担当（④）	福祉避難避難所の設置
事業担当（⑧）	事業再開に向けての準備
応急救護担当（⑦）	負傷者に対する応急処置
指揮命令者不在の時は、その場にいる人（複数の場合はその場の上位者）が判断する。	

施設外観図



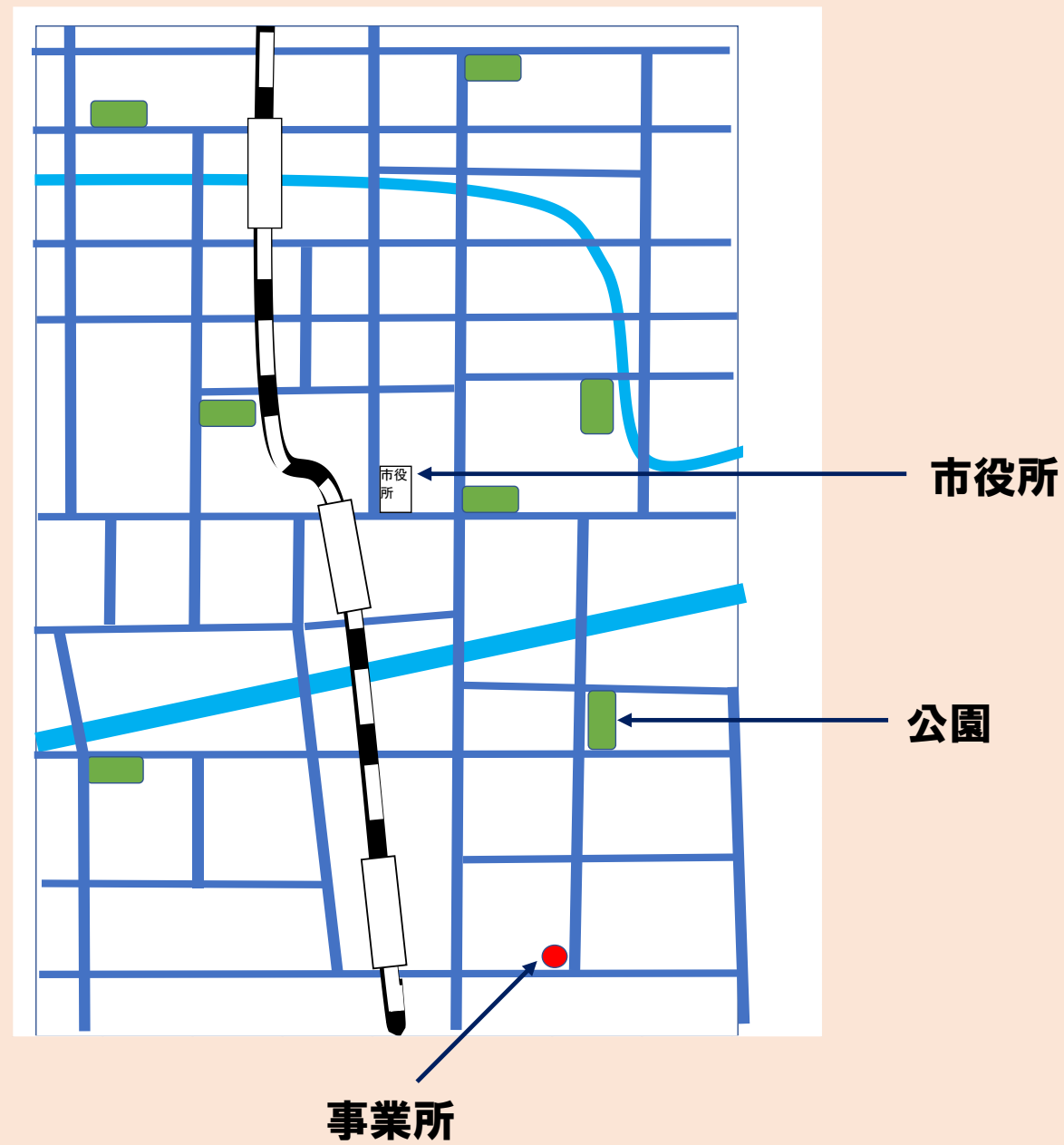
施設内図面



※調理室はあるがふだん食事の提供はしていない

■ は出入口 ■ は窓

施設位置図



備蓄品

備蓄品一覧

区分	名称	数量	備考
情報収集	携帯用ラジオ(電池2回分)	1	
避難用具	ヘルメット	20	
	軍手	20	
	拡声器	1	
移送用具	車いす	2	
	ストレッチャー	1	
	担架	1	
救命機材	バール、ノコギリ、スコップ、ハンマー	各2	
代替設備	懐中電灯と電池	5	
	ランタン	3	
	ポータブル電源(191400mAh/708Wh)	1	
生活用品	カセットコンロ	2	
	使い捨て食器	100	
	紙おむつ	100	
	使い捨てカイロ	20	
	ベッド	1	休憩室設置
	衛生器具(体温計、血圧計など)	各1	
	ゴミ袋	50	
救護用具	救急箱	1	

水や食料、毛布などの備蓄がない

設問1

**①14:15 災害発生
直後どのように行動しますか？**

揺れている真っ最中にどのような行動をとるか？

設問2

**②14:25 発生後10分
地震が収まったらどのように行動しますか？**

敷地内で待っているのか、公園のような広域避難所へ向かうのか？

設問3

③14:45

**職員はそれぞれどのように行動しますか？
利用者をどうしますか？
家に帰らせる？帰らせない？**

保護者が迎えに来た人は帰らせる。一人暮らしの人は？

設問4

④15:00 トイレをどうするか？

タンクに水は溜まっているが、1回流すと水道が停止しているなので、補充はされない。

川に水を汲みに行く？

下水道は大丈夫？

ビニール袋を活用？

設問5

- ⑤建物は棚が倒れ、蛍光灯も天井から落ち、ぶら下がっている。
窓は飛散防止フィルムが張っていなかったため、完全に割れ、ガラスの破片が飛び散っている。書庫は倒れ、机の上のものはすべて床に投げ出されている。
- ただ建物診断を行ったところ、建物自体にひどい損傷はなく使えるようだ。片付けをして部屋が利用可能になるのにどれくらいかかると思われるか？

発災後、どれくらいたったら、建物の中に入れる？

何人で片づける？

片付け終わるのにかかる時間は？

設問6

⑥16:00

**アルバイト職員3名と正規職員2名が自宅が
気になるので帰りたいと申し出た。
今後の対応をどうするか？**

残るのは正職員6名アルバイト1名（⑦⑧⑬⑮が返りたいと希望）

役割分担をどうするか？

何に何人の人数が配置できるか？

設問7

⑦16:30

近隣に住む高齢の方が、避難所では生活できそうにないので、ここで一緒に避難したいと尋ねてきました。どうしますか？

避難を許可？ OR 不許可？

歩いて15分くらいのところに、一般の避難所はある。そちらに行ってもらおう？

一人を許可すると、次々やってくる可能性も。

設問8

⑧17:00

**現時点で残っている利用者は13名。夕飯を
どうするか？**

作業所内には食料の確保がない。

近隣のコンビニも締まっている。

市役所まで行けば、備蓄食料がもらえるか？もしもらえなければ？

設問9

⑨19：00

**利用者の宿泊場所を確保しなければならない、どうするか？
宿泊が可能な職員希望を聞いたら、施設長を含め4名しかいなかった。**

10人の利用者に対して、4名の職員で足りるのか？

他に応援者はいないのか？

欠席している職員2名やアルバイト2名と連絡を取るのか？

近隣の人をお願いすることはできるのか？

設問10

⑩安否確認はいつ開始しますか？

5名の欠席者について、何人の人が避けるのか？

ふだんなら30分くらいで済みそうだが、信号が停止し、渋滞状況も考えると3、4時間はかかると思われる。

優先すべき事項は何か？

設問 1 1

⑪全体ミーティングは何時にやりますか？

被災した直後？

だいぶ落ち着いてからの方が良い？

それとも両方？

みんなでした方が良く、分担してした方が良くなどはあるか？

設問12

⑫行政への報告と必要物資の調達（行政からも らえるものはあるか？）いつするか？

あまり早くに行っても、行政も混乱していると思われる。
ただ蓄えがないので、できれば行政に行って調達できれば。

災害時の報告の様式も聞いていない。報告の必要はあるのか？

設問13

⑬ 18：00

16時に本日欠席の利用者の安否確認行ってみたが、利用者2名は不在で見つからなかった。

不在だった利用者2名が訪れ、避難者へ行ったが避難できそうにないとのことだった。どのように対応しますか？

2名は母との二世帯で合計4名。

ただこちらも備蓄品もなければ寝具もない。

宿泊の人手もないので、お母さんに手伝っていただくとありがたい気もするが、1人は高齢。